

第（４～６）学年 〔自立活動〕 学習指導案

指導者 ○○ ○○

- 1 単 元 名 「よく見よう」
「君がファクシミリの役割になろう」
- 2 単 元 目 標 集中力を養いながら視覚、聴覚の情報を得られるようにする。
- 3 本時について（単元３時間扱いの２時間目）

（１）本時の目標

「画面の文字は？」

- ・画面に集中して、視覚的な情報を得られるようにする。

「君がファクシミリの役割になろう」

- ・聞こえてくる言葉に耳を傾け、継続して作業を続けられるようにする。

（２）本時の具体的な手立て（目標達成のための工夫点や指導のポイント）

- 集中力が切れがちな児童に対して、同じ声かけをしてルーティン化することで集中を促す。
- 最後に文字が浮かび上がってくるという見通し、目標を持たせることで、最後まで継続しようとする意欲を持たせる。

（３）本時の展開

学習の流れ	○：学習活動・内容 T：教師の働きかけ（発問） C：主たる児童の反応	□：具体的支援 ■：評価規準【観点】（評価方法）
	<p>○「画面の文字は？」 T「モニターをよく見て、見えてくる文字をワークシートにかきましょ。」 C「あっ、見逃した・・・。」 つい見えた言葉を口にしてしまう</p> <p>○「君がファクシミリの役割になろう」 T「(先週と同様) 言われたマス目を塗りつぶしていきましょう。」 T「注意していても聞き逃してしまったら、すぐに切り替えて、そのあとの作業を続けられるようにしましょう。」 C「あっ、(答えは)『み』だ！」 聞き逃した箇所に拘って最後まで作業を続けられない。</p>	<p>□文字を見せる前に、必ず「見てください。」と声をかける。 □途中で見逃してしまい、意欲が継続できなくなってしまう児童には、声をかけて励ます。 □つい見えた言葉を言ってしまう児童には、言わないように声をかける。 ■画面に現れる言葉を見てワークシートに書くことができたか。(ワークシート)</p> <p>□児童の反応を見ながら、指示を出す早さを調節する。 □答えを言わないように、事前に約束を確認しておく。 □諦めてしまって作業が続けられない児童には、最後まで続ければ答えが書けることを伝え、励ます。 ■最後まで作業を続け、答えを書くことができたか(ワークシート)</p>